

岩屋中だより

令和7年5月1日 NO3

発行 長崎市立岩屋中学校

文責：校長 川口 猛

『風薫る皐月（五月）。岩屋の力の躍動』

体育大会⇒体育祭へ。

新たな岩屋の「力」の 伝統が始まる

令和7年5月18日、新たな岩屋中学校の力が発揮されます。この日は、本校の「体育祭」です。昨年度までは、「体育大会」でしたが、今年度は、「体育祭」と変更しました。これまでは、走る競技が多かったのですが、生徒が主体的に取り組み、そして、躍動感溢れ、生徒自身が作り上げていく行事でありたいということや、これまで学習した成果を披露する場としての行事でありたいということから、今年度は、「体育祭」とし、内容を大幅に変更して実施いたします。協力し合い、教師主導ではなく、生徒自身が気づき、考え、行動して、主体的な取組がそれぞれの種目に反映され、いきいきとした笑顔が、生徒たちの表情に見られる行事を目指します。

今年度は、縦割りで組編制することから、上級学年の3年生が下級生に教え、指導する場面があります。行進曲も、これまでのいわゆる行進曲ではなく、アップテンポの現代曲を行進曲にしていることから、昨年まで「腕を振れ、足を上げろ」と大きな声で叱咤激励されていたのが、今年度は自分たちで大きな声を出し、列が並んでいるか、そして、腕振りが十分か等を先輩たちがチェックして練習をしています。立場が人を成長させると言いますが、全校を引っ張る立場になったことで3年生は最上級生として成長し、その後ろ姿を見て、明らかに昨年とは異なる態度で臨む2年生がいます。1年生は、全てが最初だけに、戸惑いもありますが、先輩の姿を見て、追いつこうとしているのが見て明らかです。

内容が変わり、方法が変わり、立場が変わって初めて迎える学校行事ですが、「させられている感」がなく、一人一人が楽しみながら練習していることは、こ

れまでになかった、生徒の表現力や原動力、実践力であり、校訓の「力」が発揮されていると感じます。。

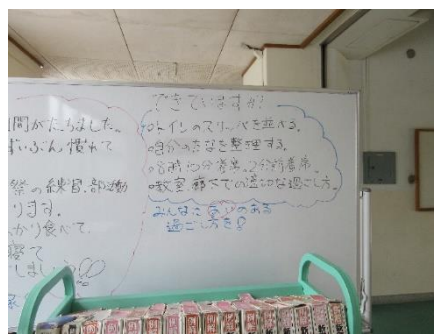
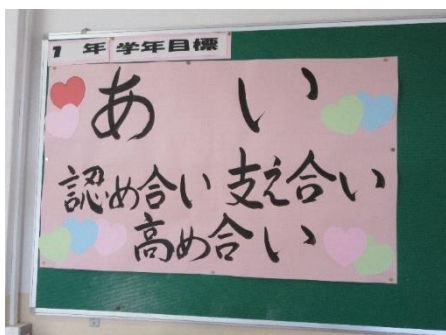
それから、3年生は、集団演技としてYOSAKOIソーランを披露します。これは、体育祭があるので始めたという取組ではなく、総合的な学習の時間に2年次から、ふるさと学習として取り組んできました。その成果をこの体育祭で披露をいたします。3年生の保護者の皆さんは、ある意味、我が子が成長した逞しい姿を目にできる絶好の機会とも言えます。絶好のシャッターチャンスでしょう。





行進の練習の様子、大縄跳びの練習の様子、YOSAKOIの練習の様子です。大きな掛け声を自分たちで出したり、リーダーが指導したりするなど、生徒の主体的な態度が全面に出ている練習です。入学式の時に言った『できる』を証明する一コマです。当日を乞うご期待ください。

校内に見られるメッセージ



上記の写真は、第1学年のフロアーと階段の1階の掲示物です。生活の中で、心がけたいことを廊下に掲示しています。また、日々の生活の中でわかる生活上の向上点や改善点をホワイトボードに記してあります。とても『有難い（ありがたい）』ことです。『有難し⇒有難い⇒あるがとう』といつも言っていますが、これらには先生方の『愛』を感じます。うれしいですね。これが皆さんの『笑顔』につながります。

<重要なお知らせ>

各ご家庭に対して、改めてお願いをします。昨日、tetoruにて配信しましたが、本校の学校行事等を撮影した場合は、その映像・写真等をSNSにアップしたり、YouTube等にアップすることはお控えいただきますようお願いいたします。これは、個人情報保護、並びに肖像権の保護のためです。体育祭等、今後も本校の学校行事が続きますので、改めてお願いをいたしました。よろしくお願い申し上げます。なお、本通信に掲載される生徒の写真もぼかしを入れて対応していることを申し添えます。